

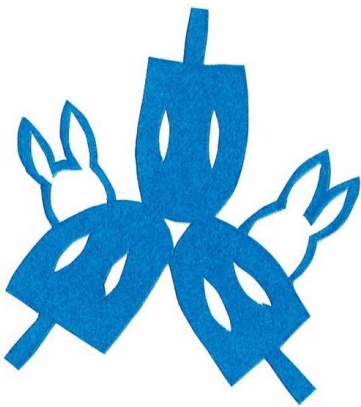
だいきく通信 第五十四号「夏の手紙」

いあつちつ

コロナウイルス感染症の法的な扱いが、本年5月初めにインフルエンザと同じく第5類に変更となりました。コロナ禍以前の日常が戻ってきつつあるように感じられる一方、感染症の流行の第9波が始まっているとの見方もあるそうで、まだ気を緩められる状況とは言えません。世界の政治情勢も、混迷を続けているようです。

いつも同じような話で恐縮なのですが、こういう時こそ、少し気持ちを緩め、落ち着かせる時間が大事ではないかと思えます。お宮がわずかばかりでもそういったことのお手伝いができればと考えております。

社報「だいきく通信」第五十四号をお届けします。今回の内容は、神社に関する豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、オリジナル・キャラクターたちが活躍する連載まんがなどです。お楽しみいただければ幸いです。



大國神社の今

○御朱印の「直書き」を再開しました

コロナウイルス対策として、御朱印は紙に書いたものをお出しする形にさせていただいております。コロナウイルス感染症の法的な扱いが変更されたことを受け、6月より、御朱印帳に直接書く形に戻しました。引き続き、当神社のオリジナルキャラクターである白ウサギのスタンプを添えてお出ししております。ご要望に応じて、紙に書いてのご対応もいたします。

お宮あれこれ「選日」の話

最近、宝くじ売り場などで「本日一粒万倍日」と書かれているのを目にすることがあります。暦には、干支を中心として日ごとの吉凶を占う「選日（せんじつ）」と呼ばれる日があります。「一粒万倍日」はこの「選日」の一つなのです。今回は、「選日」からいくつか取り上げてお話ししたいと思います。



（一粒万倍日）

まず、「一粒万倍日（いちりゅうまんばいび）」です。これは『報恩経（ほうおんぎょう）』という経典に出てくる「一粒万倍」ということばに由来します。辞書では次のように説明されています。「一粒の種子をまけば、その万倍もの粒となる意。わずかなものから非常に多くの益をあげることのたとえ。また、少しのものも粗末にしてはいけないことにいたり、もったいない気持を表わしたりするのいう。」（『日本国語大辞典』）ここから、特に商売を始める、店を開くのに良い日とされます。反対に、増えて多くなることから、借金をするにはよくない日と言われています。

一粒万倍日の決め方は複雑で、二十四節気と十二支の組み合わせによって定められます。次の表をご覧ください。

二十四節気	日の干支
立春 ～ 啓蟄の前日まで	丑・午
啓蟄 ～ 清明の前日まで	酉・寅
清明 ～ 立夏の前日まで	子・卯
立夏 ～ 芒種の前日まで	卯・辰
芒種 ～ 小暑の前日まで	巳・午
小暑 ～ 立秋の前日まで	酉・午
立秋 ～ 白露の前日まで	子・未
白露 ～ 寒露の前日まで	卯・申
寒露 ～ 立冬の前日まで	酉・午
立冬 ～ 大雪の前日まで	酉・戌
大雪 ～ 小寒の前日まで	亥・子
小寒 ～ 立春の前日まで	卯・子

期間ごとに次のようにして二日ずつ選ばれます。①丑の日から始めて十二支の順に巡る日。②①の日から奇数日（一日、三日、五日、…）あとの日。

たとえば、立春～啓蟄の前日までの期間では、丑の日、そして丑の日の五日あとの午の日となります。次の啓蟄から清明の先日までの間では、（丑の次の）寅の日、そして、寅の日の七日あとの酉の日、という具合に決められていきます。

（天赦日）

選日の中でも、最も良い日とされるのが「天赦日（てんしゃび）」です。もともとは陰陽道で一年中の極上の吉日とされてきました。天の恩恵によって、何の障害も起きない日と言われ、特に結婚、店開き、事業の開始や拡張などに最も良いとされます。次のように定められています。

二十四節気	干支
立春～立夏の前日まで	戌寅の日
立夏～立秋の前日まで	甲午の日
立秋～立冬の前日まで	戌申の日
立冬～立春の前日まで	甲子の日



(不成就日)

天赦日と逆に凶日とされるのが「不成就日（ふじようじゅび）」です。

不成就日は、何をしてても支障が生じて成就せず、悪い結果を招く日と言われます。特に、結婚、店開き、建築、命名、移転、契約ごとなどには向かないとされます。また、この日に急に何かを思い立ったり、願い事をしたりすることも避けるべきだと言われます。不成就日は、旧暦月ごとに日付が定められており、月の中では8日ごとに巡ってきます（ずいぶん頻繁です……）。

正月、七月	三日、十一日、十九日、二十七日
二月、八月	二日、十日、十八日、二十六日
三月、九月	一日、九日、十七日、二十五日
四月、十月	四日、十二日、二十日、二十八日
五月、十一月	五日、十三日、二十一日、二十九日
六月、十二月	六日、十四日、二十二日、三十日



吉日である一粒万倍日・天赦日と、不成就日はそれぞれ独立して決められますので、当然重なる場合があります。その場合の吉凶をどうみるかは、いろいろな考え方があるようです。吉と凶が相殺して、どちらでもなくなると考えられることもあります。一方で、一粒万倍日は良いことも悪いことも一万倍になるという意味があるために、悪いことはさらに増幅されてしまうという考え方もあります。

今回ご紹介した吉日・凶日は、昔から民間で信じられてきたこと、いわゆる俗信です。科学的な根拠はありませんので、あくまで参考程度にとどめるのがよろしいかと思います。

参考文献 「以下ジャパンナレッジ利用」 『日本国語大辞典』（小学館）、『日本大百科全書』（小学館）、『世界大百科事典』（平凡社）、『国史大辞典』（吉川弘文館）
産神社ウェブサイト (<https://www.santai-jinja.jp/>)
こよみの学校ウェブサイト (<https://543life.com/campus/>)

祭礼・祈祷などの案内

○次回甲子祭

令和五年九月三日（日） 午前五時～正午

○開運千人講祈祷祭 毎月一日 午前六時～正午まで

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行なっております。

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは以下の電話番号もしくはメールにてお願いいたします。

不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

(連載まんが)

大吉うさぎ

～漢字クイズ その4～

くま こまち 作

〈お問い合わせ・お申し込み〉

電話

携帯

eメール

〇三―三九一八―七九三〇

〇八〇―一九八七―八七一六

daikokujinja@gmail.com

次号発行予定

「だいいく通信第五十四号」、いかがでしたか。次号「秋の号」は、令和五年九月三日甲子祭に発行予定です。

「だいいく通信」第五十四号 令和五年七月五日発行

編集・発行 大國神社事務所

〒一七〇―〇〇〇三 東京都豊島区駒込三―二―十一

<http://www.daikokujinja.org>

